

送 辞

肌を刺す冷たい外気もいつしか緩み、吹く風にも春の訪れを感じるようになってきました。今日、夢に向かって新たな一步を踏み出される三年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心からお祝い申し上げます。

先輩方は様々な場面で私たちの良きお手本であり、憧れでした。

体育大会では、全力でどの種目も戦い、全力で応援していらっしゃいました。そんな先輩方の姿は、とてもかっこよく、私たちにもエールを与えてくださいました。

今年の合唱コンクールでは、本番当日は先輩方の歌声を聴くことができず、残念でした。しかし、縦割り練習では、先輩方の迫力のある歌声が体育館に響き渡り、私たちはとても感動するとともに自分たちの練習がまだまだ足りないということに気づかされました。そして、先輩方の合唱コンクールにかける思いの強さが伝わってきました。

また、行事だけでなく日々の生活でも先輩方の存在は大きく、とても安心することができました。生徒会、委員会活動では、リーダーシップを発揮し、後輩が困っているときには声をかけていただくなど、とても心強かったです。

吹奏楽部での活動では、私が生徒会に立候補するかどうか悩んでいたとき、親身に相談に乗ってくださったことを今でも覚えています。また、リズムを取ることがあまり得意でない私に貴重な時間を割きながら、細かい部分まで教えてくださいました。先輩方の部活動に取り組む姿はとてもかっこよく、自分のことだけでなく、私たち後輩を見守り、時には厳しくアドバイスをしてくださいました。先輩方の愛情を感じ、とても嬉しかったです。そして、そのおかげで私たちは人としても成長することができ、部活動での日々はかけがえのない宝物となりました。

今からちょうど1年前、新型コロナウイルスが流行し、世界中に大きな影響が出ました。それは、私たち中学生にも押し寄せてきました。体育大会、合唱コンクール、部活動、日々の生活、私たちは様々なことが思うようにできなくなり、とても悲しかったです。きっと先輩方は私たち以上に悲しみ、辛い思いをされたことと思います。しかし、いくつもの行事では時間が短縮され、形も変わり、例年のようには行われなくても全力で楽しみ、一致団結し、普段と変わらず笑顔を絶やさない姿に、さすがだなあ、と思いました。

門出の日を迎え、それぞれが違う道を歩まれることと思います。その中で辛いこと、不安なことがあるかもしれません。しかし、先輩方はこの一年、新型コロナウイルスという見えない敵が現れても、お互いに励まし、様々なことをプラスに変換し、立ち向かい、乗り越えられてきました。だから、これからも自分自身を信じて何事も諦めず、未来に向かって進んでください。私たち在校生もどんなときも笑顔を絶やさず仲間と協力し合いながら前へ進んでいきます。そして先輩方が支えてくださった鳴海中学校を今度は私たちが精一杯支えていきます。

最後に、今まで多くのことを学ばせていただき、たくさんお世話になりましたことに心から感謝申し上げます。本当にどうもありがとうございました。卒業生のみなさんのご活躍と輝かしい未来をお祈りして送辞といたします。

令和3年3月3日 在校生代表